

日本声楽発声学会

学会通信

第13号

会員の皆さまへ

理事長 米山文明

薄暮の候、会員の皆様にはますますご壮健にご活躍のこととお慶び申し上げます。

本学会も恒例の春の例会と総会を終え、執行部も総会のご認証をいただきましたので、新しい決意で出発しようとしております。新役員をどうぞよろしくご指導いただけますようお願いいたします。はじめから私事で恐縮ですが、私は在任期間も長くなり、年令も考慮してそろそろ本来の姿に戻し、声楽家の方にバトンタッチする覚悟をほぼ99パーセント固めておりました。新年度理事会でも理事長任期を会則で決めるよとの意見もありましたし、理事長推薦理事が多すぎるとか、理事の停年制をつくれとか、理事の選出方法（選挙方式）など、いろいろな意見がありました。私もいくつかの提案を持っていますが、ここでは触れません。

いずれにせよ、学会の発展、会員の増強など会員の皆様からのご意見をいただき、十分検討する時期が来ているのかもしれません。

前期を振り返ってみますと、予期しない出来事がいくつかありました。ことに例会の会場であった東京芸大校舎が2年越しの大改装のため使用不能になり、しかも予想外に長期にわたり、例会直前まで使用決定不明の状態でした。交通

の便や会場費用の増加その他直接、間接に会員の皆様にご迷惑をおかけし、申しわけありませんでした。芸大の工事はいまだにいつ終わるか不透明の由です。また懸案でした40年史も編集委員会諸氏の大変なご努力で、会員の皆様に経済的ご負担をいただかずに刊行できました。有料にするか無料にするか難しいところでしたが。

教育部会の委員の方々も、表面には出ない部分ですが、事務的な雑務や交通、通信その他時間的、経済的にご負担をおかけし、感謝にたえません。

積み残しの事項として「用語委員会」の活動がほとんど機能せず、また「教育部会」の具体的実践計画から実行への段取りも未解決です。

まだ私案レベルですが、(1)委員会制度の拡大、充実とその活用方法。(2)一般会員への大幅な参加要請などを考えています。特に用語委員会と教育部門委員会に。その理由としては①理事会のみでの活動には時間的、人材的にかなり制約があること。②事項によっては、会員から、あるいは必要に応じて会員以外の専門家にも参加していただく必要もありえます。③新しく参加していただく会員の活動如何によっては、その会員の学会への貢献度が他の会員にも分かっていただけのメリットもあると思います。④次の時代の学会を担うべき有能な人材も育ってくるでしょう。

以上の考えから、今後会員の皆様に直接、個人的なご依頼をすることが出てくるかもしれませんが、ぜひともご協力いただけますようお願いいたします。

最近、研究発表の数が次第に増えつつあります。会員の増強とともに研究発表の増加により、学会がますます充実、発展していくことを念じております。

どうぞ今期も新執行部に温かいご援助とご鞭撻をお願いいたし、あわせて会員の皆様のご健康とご活躍を祈り上げます。

●平成19～21年度役員・理事●

顧問 平野 実 廣瀬 肇 堀内久美雄
 相談役 飯田忠文 伊原直子 川内澄江
 佐藤心乃介 三林輝夫 高橋大海
 田中喜雄 藤村晃一
 理事長 米山文明
 副理事長 丹羽勝海 山田 実
 事務局長 川上勝功
 理事 池田京子 小川昌文 河合孝夫
 川村英司 小林武夫 佐々木正利
 清水喜承 末 芳枝 永井和子
 平松英子 官原卓也
 監事 田代雅子 淡野弓子 早瀬一洋
 矢野 滋

●平成19年度開催予定の会●

- ・8月20日(月)～21日(火) 夏季研修会
 於 日本福音ルーテル東京教会(新大久保)
 別添の「夏季研修会案内」を参照。
- ・11月24日(土) 第7回教育部会
 於 芸能花伝舎(西新宿) 予定
 東京メトロ丸の内線「西新宿」駅より
 徒歩8分。

第86回例会(平成19年11月)
 のお知らせ

とき 11月25日(日) 9:50～16:30
 ところ 日本大学芸術学部江古田校舎
 「音楽学科 新ホール」
 練馬区旭丘2-4 2-1
 西武池袋線「江古田」駅下車4分
 (池袋より約20分)

プログラム
 ・研究発表

- ①発声について考える(1) 一何が自然で、何が
 不自然か? 川村英司
- ②チャールズ・アイヴズの歌曲における静と動
 の対比について 三垣理英子
- ③ファルセットの頭声化(そのIV) 一その訓練方
 法としてのメッサ・ディ・ヴォーチェ
 渡部東吾
- ・特別講演 花岡千春
- ・現役声楽家の演奏とお話
 ソプラノ 瀬山詠子 ピアノ 花岡千春

◎必ず事前の申込み(本学会事務局あて)が必
 要です。

東京芸大が校舎改装工事のため、今回は上
 記会場となります。このホールは校舎が改築
 され、今年4月にオープンしたホールです。

例会当日は、日曜でもあり、来校者に関し
 ては事前に氏名の登録が必要です。出席者名
 簿に氏名が記載されていない場合、入校する
 ことはできませんので、どうぞご注意ください
 。

◎申込み締切り日は、11月17日(土)です。

浜松世界青少年合唱祭'07

2007年8月3日(金)～5日(日)

5～6年に一度開催される世界青少年合唱祭。
 世界各国からのゲストと国内の合唱団体が奏で
 るハーモニーが、音楽の町浜松でさわやかに、
 そして高らかにこだまします。

- ・8月3日(金) 交流コンサート(市内4会場)
- ・8月4日(土) 合唱セミナー
 場所 アクトシティ浜松音楽工房ホール
 ・10:00～12:30 青少年合唱における地域性
 出演 ロシア、ハンガリー、ポーランド、
 中国の各合唱団

司会・通訳・コーディネーター 松原千振
・13:15～14:30

出演 暁星小学校聖歌隊の練習風景
(公開) 講師 蓮沼勇一

・14:30～16:00

講座 合唱における発声と呼吸
講師 米山文明・米山章子
司会・進行・企画 浅野武実行委員長(本
学会会員)・玉川部会長

全席自由 一般 1,000円 学生 500円

○まちかどコンサート (入場無料)

○歓迎式&ウェルカムイベント
(入場無料)

・8月5日(日)メインコンサート

場所 アクトシティ浜松大ホール

開演 10:00～

全席自由 一般 2,000円 学生 500円

お問合せ先 053-451-1151

[会員だより]

思い出とともに

大西郁子

新緑の美しい季節になりましたが、私はこの時節勢いついて生い茂る雑草の中に埋もれています。

「千の風になって」を歌い、時の人でもある秋川雅史さんのお父様は、愛媛県の西条高校の先生でした。私の学生時代、愛媛大学合唱団の指揮者で、私の一級下の方でした。本学会の前身「発声指導法研究会」発足時の理事長をされた城多又兵衛先生が愛媛大学に特設音楽科を設けるために来ておられ、私たちは直接ご指導をいただきました。私は学生の演奏旅行の際、ヘンデルのメサイヤの合唱でピアノ伴奏をさせていただきましたことがあります。

20年以上も前になりましたか、発声学会の例会に出席した帰り、城多先生にベッリーニやモーツァルトを教えていただいたこともありました。

秋川雅史さんは父親にそっくりな声です。城多先生の声にも似ているかな……とったりもしています。

私は秋川先生の後任として、西条高校に赴任しましたが、歌が上手ではなくて困りました。

そんなことを思い出しながら、一筆記してみました。秋川先生には、発声学会の案内をお送りしました。ご子息の雅史さんは入会されるでしょうか。

◆出版◆

「美しい声で日本語を話す」 米山文明

6月新刊。「美しい声」で話し、「きれいな発音」をするには、どうすればよいか。長年の研究と体験に基づき、さまざまな事例をあげながら、「声」のしくみと「日本語」との関係、その可能性を探る。
平凡社新書 777円

「歌の玉手箱」 宮本昌子

明治・大正・昭和の時代に作られ、歌いつがれた童謡、唱歌、叙情歌、歌謡曲を中心に550曲を厳選。歌の時代背景、作詞・作曲者についての説明も記載。長く歌い続け、伝えていきたい日本の心の歌集。
文芸社 1,500円

「美しい日本語をうたう」 大賀 寛

どうすれば心を伝える日本語による唱法ができるのだろうか。日本歌曲の創造とその歴史についての考察、日本語の構造、音韻・アクセント・韻律・文法等の解説に及びながら、詩の朗唱法や歌

唱の実際について、具体的に作品に即して平易に解き明かした著書。大賀寛先生は、夏季研修会の講師。
カワイ出版 1,900円

「ピアノを弾くということ」 花岡千春

4月刊。「いろんな方法論を知っていることは、絶対に必要なのです。音楽の才能とは、それらをどう組み合わせるかということです」一本書より一。数多くの演奏家との共演、学生との触れ合いなどを通して考察をめぐらし、音楽本来の楽しみ、本質をやさしく語ったエッセイ集。洞察と叡智の結晶。声楽を志す人にも多くの示唆を与える本。花岡千春先生は、11月例会の特別講演講師。瀬山詠子先生の伴奏者。

フィルムアート社 1,600円

◆CD発売◆

宮原卓也「日本の歌を歌う」

琵琶湖周航の歌、真白き富士の嶺、砂山（ハーブ 宮原真弓） 荒城の月（ピアノ 新井省吾） 平城山、九十九里浜（ピアノ 古高晋一）他

2,000円

丹羽勝海作品集（自作・自演）

'06. '05. '04. '03の各11月にカザルスホールにて行われた日本大学芸術学部主催のファカルティ・コンサートのライブ録音。「三つの歌」二重唱（初演）、「声と琵琶の為の二つの歌」「三つの歌」「声と箏の為の三つの歌」（初演）を収録。出演：丹羽勝海(T) 三垣理英子(S) 松井晶子(P)

住友紀人(P) 本橋乗子(琵琶) 雨宮洋子(箏)

ZEMAN RECORD 3,000円

◆演奏会◆

過ぎ行く秋を楽しく

日時 11月23日（金・祝日）

会場 津田ホール（千駄ヶ谷駅前）

曲目「椿姫」より“乾杯の歌”

「トスカ」より“星は光りぬ”

「メリー・ウィドー」より“高なる調べは”

落葉松（小林秀雄）他

出演 青島広志（司会・ピアノ）加納純子（S）

山田 実（T）小林秀雄（ピアノ）

主催：東京津田会 協力：財団法人津田塾会

全自由席 5,000円 学生（当日残券分）2,000円

連絡先 03-3726-1439（山田）

【お知らせ】

【Q&A】について。「学会通信」12号まで掲載したコラムを次回から【用語の栞】として設置し、用語委員会の各分担委員によって続けたいと考えています。分担は「音楽・声楽」「解剖・生理」「音響・物理」の3分野ですが、分野別に順に掲載できればと思案しているところです。

【事務局より】

◎学会誌36号、学会通信への投稿をお待ちしております。演奏会、出版、CD制作その他近況についても、どうぞ事務局までお寄せください。また、ホームページに関するご意見、ご要望等ございましたら「広報委員会」あてによろしくどうぞ。
事務局長 川上勝功

学会通信 第13号

平成19年7月7日

日本声楽発声学会事務局

〒275-0005 習志野市新栄2-9-2 西村暁子方

TEL./FAX. 047-479-5701